

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	COLLECOLOR PETIT		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童、活動に適したスペースの確保	・それぞれのスペースが何をする場所が明確にしておくことで児童の切り替えがスムーズに行える ・広さを利用し保護者を大勢招いての参観を実施している	・それぞれの場所のできることや、使える時間を示していき、より使いやすくしていく ・参観を利用して保護者同士のコミュニケーションの機会を設ける
2	・専門職員による支援	・専門職員による療育の実践、その様子を共有し職員全体の支援の質を高めている ・担当者会議に専門職員が参加することで、保護者や他事業所への共有を行なっている	・引き続き職員全体に共有することで支援の質を高める ・専門職員がいない分野においても、内外研修や事業所内書籍を活用し自己研鑽に努める
3	・児童発達支援のみであること	・年の近い児童同士の交流により、園へ通う前のプレに近い形で活動を行なっている	・卒業時の移行をスムーズに行うために、保護者からのニーズをもとに事業所を紹介できるよう、共有を行なっていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・新しい取り組みが少ない	・事業所、職員ともに固定化している部分があり、取り組みに抵抗がある。	・職員全体で意見交換を行なっていき、維持する部分と改善する部分をまとめ、リスト化していく
2	・職員間での情報共有が職員によってバラバラであること	・送迎や日常の業務の中で、共有すべき内容、方法が職員全体への周知が足りていない	・改めて職員全体で共有を行うよう周知し、その共有内容に対し意見交換をおこなう機会を設ける
3	・卒業タイミングでの移行先が全て希望通りに進めることが難しいこと	・前例がまだ少なく入所時の説明漏れ、保護者や事業所への事前の共有が十分でない	・入所時の説明項目に加えるとともに、その年の時期に保護者、事業所と事前の打ち合わせを行なっていく

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 COLLECOLOR PETIT

公表日 2026年 2月 24日

利用児童数 40

回収数 21

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18			3		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20			1	・遊ぶスペース、食べるスペースが仕切られていて、切り替えしやすい ・広くてのびのび過ごしているようで	・引き続きスペースを活かした支援を行なっていく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18			3	・問題なく安心して預けることができます	
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1				
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	1				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			2		・支援計画作成時/モニタリング時に引き続き説明を行って参ります
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			1	・今日はこんなことがあり、このような声かけをしました。等具体的に教えてくださるので安心できます ・家で様子と事業所での様子を照らし合わせて支援に活かして下さっています	・引き続きその日の様子を連絡帳やSNSを通じてお伝えしていきます
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1		2		
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	12	1	3	5	・園との交流はないが、地域の子ども食堂に行けたのが良かった	・地域への外出支援を引き続き行って参ります	
保護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	2	1			・支援計画作成時/モニタリング時に引き続き説明を行って参ります
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	1	2	2		・ご家庭のニーズに沿いながら、今後も実施の検討を行なって参ります
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20			1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20			1		

者 へ の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	1	1	4	・定期的に参観日があり普段の東司を見られます ・見に来てくれるのが嬉しいようで、また見にくる？と聞かれます。また見に来てくれるまで頑張ろうと思って行っているようです	・引き続き参観日を設けていることを、その月に周知して参ります
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	1	3		・定期的に発信するとともに、ご家庭へ直接共有する機会も増やしております
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19				2	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12		1	8		・周知に努めて参ります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1	1	10		・定期的に防災訓練を行い、児童の様子を観察し、どのように動いていくか職員全体で共有しております
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16				5	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			1	5	・怪我をした際の、状況説明と改善案が甘いように感じた
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	3			1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21					

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		COLLECOLOR PETIT		公表日		2026年 2月 24日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3		・送迎に出る時間帯に子供達に安心して過ごしてもらえるよう、時間や遊び方の工夫を行う		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・部屋を色分けすることで何をやる場所なのか分かりやすくしている			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1		・空調の効きが悪く、保護者も児童も寒いと言っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		・機会、周知が少ないので機会を増やしていければ		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3		・機会、周知が少ないので機会を増やしていければ		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		・外部評価が足りないと感じる		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7					

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	5		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	・専用アプリを用いて、情報共有を行なっている	・振り返りが足りないのもう少し増やしていければ
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	・北区で活動を行なっている、役員、他事業所、他グループと意見交換を行なっている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	・放課後デイサービスの紹介、引き継ぎを行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・送迎時、連絡帳、SNSと保護者に合わせて、情報共有を行なっている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1		・3ヶ月に一度の頻度で参観日を設け、父、母だけでなくご兄弟の参加も可能としている	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7				・言語に限らず、ジェスチャーや絵カードを用いている
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1			
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2			・会社全体で定期的に研修を行なっている
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7				
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2			・提供がないようリスト化している
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7				・会社全体で委員会を設置し、定期的に研修を行なっている
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1			
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7				
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1			・会社全体で委員会を設置し、定期的に研修を行なっている
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2				